

会報

KAI-HOU

No.330
2017.9.15



コヨット! in おおさか2017夏

[開催報告]	2017年度 第1回理事会	1
[開催報告]	夏休み文楽鑑賞のつどい	8
[開催報告]	夏休みファミリーコンサート	9
[開催報告]	第1回理事・監事研修会	10
[開催報告]	社会福祉問題研修会	11
[開催報告]	東日本大震災被災者支援「お盆里帰りバス」	12
[開催報告]	東日本大震災被災者支援「コヨット! in おおさか2017夏」	13
[開催報告]	第29回近畿地区生協・行政合同会議	16
[お知らせ]	～おおさかまるごと～健康チャレンジ	17
[連載]	「サラダボウル～ひとりひとりが輝いて～」	18
[スケジュール]		19

大阪府生協連 2017年度第1回理事会開催報告

開催概要

- I. 日 時 2017年7月20日(木)
15時～16時50分
- II. 場 所 シティプラザ大阪 2階朗
- III. 出席者
(会長理事) 惣宇利
(副会長理事) 柴橋
(専務理事) 中村
(常任理事) 入船、江口、勝山、北川、中谷
(15時1分 審議事項1より出席)、羽多野、森本、山口
(理事) 秋山、足立、今宮、大内、奥、久保、清水、長里、洞井 (15時13分 審議事項4より出席)、堀内 (16時 報告事項2で退席)、渡邊
以上、理事総数24名中22名出席、監事総数3名中出席なし
(欠席理事) 篠原、西村
(欠席監事) 関戸、谷川、吉川
- IV. 議長 惣宇利会長理事
- V. 議事の経過と要領との結果
定刻になり、惣宇利会長理事が議長として、理事総数の過半数以上の出席をみたので、理事会の議決要件を充足した旨を告げ、開会を宣し議事を進行了た。

審議事項

1 役員報酬決定の件

柴橋副会長理事より、役員報酬について、第56回通常総会で議決された役員報酬総額の範囲内で、支給対象役員(惣宇利会長理事、中村専務理事)に対する支給金額及び支給方法について、人事委員会での討議を踏まえ、提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

2 顧問選任の件

中村専務理事より、人事委員会からの答申を受け、前副会長理事の藤井克裕さんを顧問(非常勤・無報酬)とする旨提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

3 常任理事の互選の件

中村専務理事より、人事委員会からの答申を受け、常任理事の互選について提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

【常任理事】 ※下線部新任

入船 行由 (近畿大学生協 専務理事)

江口 慶明 (関西大学生協 専務理事)

勝山 暢夫 (大阪いずみ市民生協 理事長)

北川 俊彦 (おおさかパルコープ 専務理事)

中谷 清 (ヘルスコープおおさか 専務理事)

羽多野宏子 (北大阪医療生協 専務理事)

森本 玄輔 (全大阪労働者共済生協 専務理事)

山口 健治 (コープこうべ 専務理事)

4 理事会の役割分担の件

中村専務理事より、人事委員会からの答申を受け、理事の役割分担について、提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

5 生協大会開催企画の件

小山事務局より、生協大会の開催企画について提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

なお、江口常任理事より「新年講演会との企画の差別化について」、長里理事より「展示コーナーのテーマについて」意見が出された。

【日 時】 2017年11月16日(木)

10時30分～14時終了予定

【場 所】 ドーンセンター 7階ホール・
1階パフォーマンススペース

【開催規模】 500名

【参加対象】 大阪府生協連会員生協 組合員、役職員

【開催要領】 10:00 受付開始

10:30 開会

主催者挨拶

10:40 記念講演

大阪国際大学准教授、

全日本おばちゃん党代表代行
谷口 真由美さん
12:05 休憩
12:20 講演への質疑応答
12:45 記念講演会終了
展示交流スペースで活動交流
14:00 終了

6 分野別会議開催企画の件

小山事務局長より、「地域」「医療」「大学」「職域・共済」を対象とする分野別会議の開催企画について提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

- ①「地域生協」「医療生協」「大学生協」「職域生協・共済生協」の分野別で開催する。
- ②出席対象は各会員専務理事とし、専務理事が出席できない場合は代理の方の出席を要請する。
- ③開催日程は10月下旬から12月上旬とし、出席予定者の日程を調整した上で設定する。
- ④議題は「2017年度上期事業報告と下期及び2018年度重点課題等について」とし、各分野別の共通する課題等に基づき議題設定等が必要な場合は別途調整する。

7 大阪府社会福祉協議会からの要請の件

小山事務局長より、大阪府社会福祉協議会から大阪府ボランティア・市民活動センター運営委員会委員を中村専務理事に委嘱の要請があり、要請を受ける旨提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

8 理事会へのオブザーバー出席要請の件

中村専務理事より、森本常任理事が7月31日開催される全大阪労働者共済生活協同組合の第63回通常総代会にて役員を退任される予定であることから、理事会規則第3条に基づき、第2回理事会から全大阪労働者共済生活協同組合にオブザーバー出席を要請する旨提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

報 告 事 項

大阪府生協連

1 第56回通常総会開催報告

[日 時] 2017年6月22日(木)
14時～15時40分
[場 所] 天王寺都ホテル 6階 吉野西の間

[開催要領]

- (1) 開会宣言
- (2) 議長選任
- (3) 会長理事挨拶
- (4) 総会役員選任
- (5) 来賓祝辞、来賓紹介
- (6) 議事日程確認
- (7) 議案審議

第1号議案

2016年度活動報告・決算報告・剰余金処
分案承認の件

第2号議案

2017年度活動方針・予算案承認及び役員
報酬の設定の件

第3号議案

役員補充選任（理事6名の補充）の件

第4号議案

議案決議効力発生の件

- (8) 閉会

[出席状況] 代議員 代議員総数40名の内、
出席40名（本人出席31名、書面
出席9名）
傍聴 46名
来賓 9名
理事・監事 28名

[総会役員]

議長 高垣 智子 代議員
（生活クラブ生協大阪）
議事運営委員 篠原 聡 理事
橋下 篤司 代議員
（日鉄住金生協大阪）
資格審査委員 後藤 高宏 代議員
（大阪樟蔭女子大学生協）

[議案提案]

第1～4号議案 中村 夏美 専務理事
監査報告 関戸 雅弘 特定監事

[発 言 者]

5生協5名より発言
①安嶋 玲子 代議員（大阪いずみ市民生協）
「組合員活動と地域活動の在り方について」
②片桐真智子 代議員
（ヘルスコープおおさか）
「2017年度教育文化費予算について、文化

企画について、おおさかまるごと健康チャレンジについて」

- ③櫻井 秀一 代議員
(全大阪労働者共済生協)
「自然災害への取り組み、防災減災の活動について」
- ④藤江 正俊 代議員
(大学生協関西西北陸事業連合)
「学生生活実態調査から見る大学生協のすべきことについて」
- ⑤宮井 篤 傍聴者
(医療生協かわち野生協)
「おおさかまるごと健康チャレンジの成果と今年度に向けて」

【審議結果】

全議案とも原案通り賛成多数で可決承認されました。

【ご来賓】

- 長澤 研一様 (大阪府府民文化部 男女参画・府民協働課長)
- 高橋 由佳様 (大阪府市民局総務部長)
- 西川 明尚様 (堺府市民人権局 市民生活部長)
- 多賀 雅彦様 (大阪労働者福祉協議会副会長)
- 内藤 晃様 (大阪府漁業協同組合連合会事業課長)
- 小林紀久子様 (日本生活協同組合連合会関西地連事務局長)
- 石村 龍治様 (近畿労働金庫大阪地区統括本部本部長)
- 岡本 孝子様 (なにわの消費者団体連絡会事務局長)
- 大森 隆様 (全大阪消費者団体連絡会事務局次長)

2 委員会開催報告

(1) 第5回文楽・コンサート実行委員会

- 【日 時】 2017年7月5日(水)
10時～12時
- 【場 所】 大阪府社会福祉会館 4階406
- 【出 席】 安倍 (いずみ)、近藤・長尾 (よどがわ)、伊藤 (エスコープ)、植田 (パルコープ)、田中 (こうべ)、白仁田 (自然派)、秋葉 (生活クラブ)、羽村・米川 (かわち野)、友繁 (全労済)、長里・中村・小山 (府連)

以上14名

【議事結果】

(1) 夏休み文楽鑑賞のつどい

- 当選者数681人のところ12生協から1,178人(昨年1,522人)の申込みがあり抽選となった。落選者には生協公演と同価格で鑑賞できる割引券を配布した。震災避難者招待では12人から申込みがあった。
- 当日配布するプログラム、観劇マナー啓発チラシ、アンケートについて確認した。
- 開演時の進行について協議した。
- 公演当日の運営、委員の役割と出欠について確認をした。

(2) 夏休みファミリーコンサート

- 当選者数1公演1,370人、合計2,740人のところ、11生協から2,291人(昨年2,534人)の申込みがあり、午前午後とも全員当選となった。震災避難者招待では、午前の部17人、午後の部9人から申込みがあった。
- 当日配布プログラム、アンケート(午後の部のみ)の内容について確認した。
- 公演当日の運営、委員の役割と出欠について確認した。

(2) 第3回生協大会実行委員会

【日 時】 2017年7月6日(木)
10時～11時45分

【場 所】 大阪府社会福祉会館 4階406

【出 席 者】 池辺 (いずみ)、近藤・加藤 (よどがわ)、梶川 (エスコープ)、植田 (パルコープ)、木村 (きづがわ)、住井 (かわち野)、辻 (全労済)、中村・小山 (府連)

以上10名

【議事概要】

(1) 講演者・講演テーマについて

- 大阪国際大学准教授、全日本おばちゃん党代表代行の谷口真由美さんに講演いただくことを確認した。
- 講演テーマは、HP等で紹介されているものから「オッサン政治にもの申す!おばちゃん目線でかわる?」「おばちゃん目線で見る社会の問題～みんなハッピーに暮らすには～」の二つのテーマをミックスした内容で調整する。

(2) 7階ホール「講演会」の進行について

- オープニングで、会場を明るく元気に盛り上げるパフォーマンスの実施を検討する。「5分程度の出し物」「当日のリハーサル等が必要ないもの」「組合員のサーク

ル等でされているもの」を条件に各委員で検討し次回協議する。

- 谷口さんの講演時間を90分とし、休憩時間をはさみ、その後に講演に関する質疑応答を行い12:45目途にホール企画は終了する。質疑応答は休憩時間に質問カードを回収し、司会から質問を紹介する形式で進行する。
- 会員生協の活動報告を行わない。

(3) 展示交流・試食・試供品配布について

- 展示コーナーを7階ホールロビーと1階パフォーマンススペースの2ヶ所に設置し混雑の緩和を図る。
- 1階パフォーマンススペースに、ミニステージ的なコーナーを設置し、各出展生協から宣伝アピールの時間を設ける。1階展示コーナーは壁に沿って展示パネルを設置し、中央スペースには机のみ配置する。
- 試食、試供品を提供予定の実行委員生協は、その内容案を、次回委員会に提案いただき重なるものがあれば調整する。

(4) 司会について

- 7階ホールの司会はバルコープが、1階展示コーナーの進行はきづがわが担当する。

(5) その他

- 次回委員会(8/9)は、可能であればドーンセンターで開催し、設備等の下見を行う。

(3) 第1回組織活動委員会

[日 時] 2017年7月12日(水)

14時～16時15分

[場 所] 大阪府社会福祉会館 4階406

[出席者] 吉川(いづみ)、明山(よどがわ)、本屋敷・岡田(バルコープ)、森畑(こうべ)、酒井(自然派)、辻(全労済)、篠原・清水・小山(府連) 以上10名

[議事概要]

- (1) 組織活動委員会の活動の経過について事務局から報告がされた。
- (2) 2017年度活動のすすめ方について協議した。委員会の開催日程を提案どおり確認した。委員会主催の学習企画について、昨年度好評だった「アサーティブ講座」を11月頃に開催することを確認した。
- (3) 各生協のこの間の特徴的な取り組みについて報告いただき交流した。

- (4) 各生協の特徴的な取り組みの報告を受け、委員会内学習「会員生協の活動を学ぶ」について協議した。協議の結果、次回委員会で医療生協の「つながりマップづくり」の活動について学ぶことを確認した。

〈今後の委員会日程〉

第2回 10月18日(水) 14時～16時30分

第3回 1月31日(水) 同

第4回 4月19日(水) 同

(4) 第1回ジェンダーフォーラム協議会

[日 時] 2017年7月19日(水)

14時～16時5分

[場 所] 大阪府社会福祉会館 4階402

[出席者] 坂井・湊(いづみ)、宮原(よどがわ)、森畑(こうべ)、中村(自然派)、西浦(北大阪医療)、友繁(全労済)、惣宇利・小山(府連) 以上9名

[概要]

- (1) 各委員より自己紹介がされた。
- (2) 委員長の互選について次回協議会で行うこととした。
- (3) ジェンダーフォーラム協議会の活動の経過について振り返り、2017年度の活動について協議した。

2016～2017年度は「ワークライフバランスについて考える」をテーマとして、2016年度は若者から考え、2017年度は子育て世代を中心に考えるとし、具体化についてフリートークをした。

- 女性のワークライフバランスについて、苦労も含めた成功例から学ぶ
- 自らの体験として子どもが出来て仕事をやめ、子育てが少し落ち着き生協やPTAの活動をしている。PTAの男性の関わりは両極端。子育て中の世代に聞いてほしい内容のものがいい。
- 昨年の奨学金やブラックバイトでは、その問題に直面する方達に聞いてほしいと思った。今年は子育て世代に参加してほしい。
- 直ぐには解決できない課題が多いが、学習を通じて変わるきっかけとなればよい。
- LGBTの問題も今は身近に関わることで認識が広がりつつある。しんどい立場に置かれている人のお話を、取材されている方等から聞いて活動をすすめることが原点。
- 子育て世代に関わる問題をテーマとした

映画の上映も一つの方法。

- さまざまな経験談から学ぶことも大切。
 - 子育て世代の当事者が興味を持ち、参加できる曜日や時間帯に企画することを検討してもいいのでは。
- (4) 会報9月号の原稿は湊委員が担当することを確認し、11月号以降は次回協議会で決定する。
- (5) 第2回協議会は9月20日(水)開催を一旦予定し、欠席者で当日都合の悪い方が多い場合は再度日程調整することとした。

日本生協連、他生協等

3 2017年度第1回近畿地区府県連協議会参加報告

[日 時] 2017年7月3日(月)
13時30分～17時

[場 所] 新大阪丸ビル別館 5階5-7

[出席者] 榎尾(福井)、西山・藤田(滋賀)、辻・新田(奈良)、上田・藤井(和歌山)、高取・川端(京都)、田中・三輪(兵庫)、元山(KC'S)、小林(関西地連)、浦田(近畿ろうきん)、惣宇利・中村・小山(府連) 以上17名

[議 題]

- (1) 第29回近畿地区生協・行政合同会議の開催について
8/30(水) シティプラザ大阪
- (2) 2017年度近畿農政局との意見交換会企画について
- (3) 各府県生協連からの活動報告と交流
- (4) 日本生協連報告と意見交換
- (5) 消費者支援機構関西(KC'S)報告と意見交換
- (6) 近畿労働金庫報告と意見交換
※次回10月6日(金) 会場：滋賀県

会員及び友誼団体等

4 会員生協2016年度決算報告

(内容省略)

5 消費者支援機構関西

[日 時] 2017年6月24日(土)
13時30分～14時30分
※終了後記念シンポジウム開催

[場 所] 新大阪丸ビル別館4-3号室

[出席] 出席表決件数109票／表決権総数110票

[議 案]

- 第1号議案 2016年度事業報告承認の件
第2号議案 2016年度決算承認の件
監査報告
第3号議案 定款変更の件
第4号議案 役員選任の件
第5号議案 会費規程制定の件
- 報告事項1 2017年度活動計画の件
報告事項2 2017年度活動予算の件
- ※全議案賛成多数で可決
※理事兼事務局長に元山鉄朗さんが新任

[記念企画]

シンポジウム 14時50分～17時
テーマ 「新しい消費者被害回復制度、わたしたちの制度として使うために～もっと知りたい！特定適格消費者団体を『模擬体験』で学びます Part 2～
(今回のシンポジウムの狙い)

- ①新制度に係る一部を特定適格消費者団体の立場で体験することで、新制度の限界と可能性を身近に感じ、実効性のあるものとして運用していく上で強化しなければならないことについて考える。
- ②新制度の受け皿としてKC'Sがあつてよかったと感じてもらい、新制度を回りの方に伝えてもらう。
 - (1) ファシリテーターより新制度の概要及びシンポジウムの目的、進め方の説明
ファシリテーター：二之宮常任理事(弁護士)
 - (2) 事務局より情報提供を受けた事例を説明
 - ①旅行事業者
 - ②結婚式場運営
 - ③調理師・パテシエ養成専門学校
 - (3) グループ論議1
 - ・情報提供事例についてKC'Sで取り上げるべきか議論
 - (4) 被害回復検討委員長より、簡易確定手続の進め方説明
被害回復検討委員長：島川理事(弁護士)

- (5) グループ論議 2
 - 対象者に届く通知書を黙読した後、KC'Sの簡易確定手続に使うツールや求める費用などについて論議
- (6) グループ発表
- (7) 進行者からコメント

導入する際の経験などから計画に活かせる内容を学ぶ

講師 米虫 節夫さん

大阪市立大学客員教授

第3回 10月下旬予定 大阪府食の安全推進課との意見交換

- 全国消団連は、「地方消費者行政の充実・強化に向けた今後の支援についての意見」「独占禁止法研究会報告書に対する意見」を発信する。6月に家庭用電力小売事業者を対象に電源構成開示に関するアンケート結果を公表した。

(3) 実行委員会等、参加組織の活動

- 不招請勧誘規制を求める関西連絡会では大阪府内の金融機関に特殊詐欺の被害防止の為のシステム導入等に関する要請書を検討する。
- 暮らし・クリエイティブフォーラム in 大阪実行委員会の事務局団体になった。次回企画は2018年秋を予定。

【協議事項】

- 1) 2017年度総会（9/30）について
- 2) 機関紙サイクルの編集・拡大等について
- 3) 8月度運営会議について
- 4) 大阪府消費者保護審議会委員の推薦について

6 なにわの消費者団体連絡会報告

○7月度幹事会

[日 時] 2017年7月19日(水)
10時30分～12時30分

[場 所] KC'S 事務所内会議室

[出 席] 6 団体

[議 題]

- (1) 大阪府消費生活センターとの懇談会内容
と日時案について
- (2) 介護施設での研修について
- (3) 8月31日学習会についてなど
- (4) なにわの風34号 記事について（9月発行予定）
- (5) その他
 - 各出席委員会報告

7 全大阪消費者団体連絡会報告

○理事会

[日 時] 2017年7月5日(水)
15時～17時

[場 所] 消団連 会議室

[概要]

【報告事項】

- (1) 組織・財政の現状と対策
 - 機関紙サイクル1部増、1部減（5月末751部）、6月度決算報告
- (2) 加盟団体の活動等
 - 大阪コンシューマーズネットワークは第3期大阪府食の安全安心推進計画の策定に対し連続学習会を開催する。

第1回 9/14(水) 13:30～15:30 大阪府社会福祉会館402

テーマ：東京都の食品安全推進計画の策定の経験や計画の内容から大阪の計画に活かせることを学ぶ

講師 矢野 洋子さん
元東京消費者団体連絡センター事務局長

第2回 10/3(火) 10:00～12:00 大阪府社会福祉会館402

テーマ：HACCPの考え方、事業者に

8 消費者ネット関西報告

○7月度理事会&評議委員会

[日 時] 2017年7月14日(金)
18時30分～20時30分

[場 所] ドーンセンター セミナー室2

[議 題]

連続セミナー

「ごみは意外に雄弁だ」

浅利美鈴さん（京都大学地球環境学准教授）

9 おおさか災害支援ネットワーク報告

○第10回

[日 時] 2017年7月12日(水)
13時～18時30分

[場 所] 大阪府立大学 I-site なんば2階

[出 席] 大阪府、市町村社協、NPO 団体等51団体108人

[内 容]

- (1) 開会挨拶

- (2) 趣旨説明・オリエンテーション
- (3) プレゼン大会（各団体15分）

行政

10 おおさかスマートエネルギー協議会全体会議参加報告

[日 時] 2017年6月27日(火)
10時～12時

[場 所] 大阪府咲洲庁舎29階 会議室

[出席団体]

【消費者団体】

関西消費者連合会、なにわの消費者団体連絡会、大阪府生協連

【事業者団体】

関西経済連合会、大阪商工会議所

【エネルギー供給事業者】

関西電力、大阪ガス、オリックス

【行政】

大阪府、大阪市、堺市、門真市

【オブザーバー】

近畿経済産業局、近畿地方環境事務所、大阪府地球温暖化防止活動推進センター

【ファシリテーター】

ひのでやエコライフ研究所
代表取締役 鈴木 靖文 氏

[議 題]

- (1) 今年度の大阪府・大阪市の取り組みについて
- (2) 国の温暖化・エネルギー政策の動向について
- (3) 各団体からの取り組み紹介
- (4) 意見交換（協議会のテーマ・進め方について）

「夏休み文楽鑑賞のつどい」 開催しました

7月28日(金)、「夏休み文楽鑑賞のつどい」を大阪府中央区の国立文楽劇場で開催しました。

「夏休み文楽鑑賞のつどい」は、日本の文化・芸能の普及を目的に、大阪発祥の伝統芸能「文楽」を身近に感じていただく機会として、国立文楽劇場が、夏休みに実施している夏休み文楽特別公演「親子文楽」の第一部公演を、大阪府生協連の買取り公演として開催しています。例年、定員を上回る申込みをいただく人気の企画です。今年も681人の定員に対して、12生協から1,178人の申込みをいただきました。

今年の演目は、金太郎が村人を守るために大ぐもと戦う「金太郎の大ぐも退治」、スペインの民話を日本風にアレンジした喜劇「赤い陣羽織」を上演しました。まるで人のように時に繊細に、時にダイナミックに動く文楽人形に引き付けられました。

今年の公演も、近畿に避難されている東日本大震災の被災された方12名をご招待しました。また残念ながら落選された方には、生協買取企画と同額で文楽劇場の「親子文楽」鑑賞いただける割引券を配布しました。

【上演内容】

『金太郎の大ぐも退治』

『赤い陣羽織』

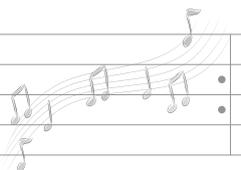


毎年人気の企画です。



金太郎の大ぐも退治

「夏休みファミリーコンサート」を 開催しました



7月30日(日)、「夏休みファミリーコンサート」を、日本センチュリー交響楽団の演奏により、NHK 大阪ホールにて開催しました。

午前・午後の2回公演、1公演定員1,370名で計2,740名に対し、11生協から2,291人（午前の部1,079人、午後の部1,212人）の申込みがありました。

今年のコンサートは「笑顔はじける！楽しいオーケストラ♪」をテーマに、クラシックの名曲から、ジブリ映画のテーマソング、オーケストラ演奏と会場全体での手拍子をコラボレーションさせた企画等、幅広い内容で取組み好評でした。

このコンサートには、東日本大震災により、近畿圏に避難されている方を、午前午後合わせて28名ご招待しました。

【演奏】 日本センチュリー交響楽団

【指揮とお話】 関谷 弘志 氏

【プログラム】

〈オープニング〉

モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」序曲

〈楽器紹介〉

オーケストラの愉快的仲間たち

〈クラシックの名曲①〉

チャイコフスキー：バレエ組曲「くるみ割り人形」より花のワルツ

～ 休憩 ～

〈ジブリメドレー〉

メロディーズ・フロム・宮崎駿ムービー「さんぽ～風の通り道～もののけ姫～君をのせて～」

〈会場全員で〉

Clip beat Clap！

〈クラシックの名曲②〉

ビゼー：アルルの女組曲より ファランドール



理事・監事研修会を開催しました

8月1日(火)、ドーンセンター特別会議室にて、2017年度の「第1回理事・監事研修会」を開催しました。15会員生協、連合会から66名が参加しました。

今年の理事・監事研修会は、日本生協連通信教育「新版・理事／監事コース」を座学で学ぶ内容とし、第1回目は、まず大阪府の生協担当者から、昨年の生協検査による主な指摘事項等について報告いただき、各生協への注意喚起がありました。その後、「生協のガバナンスと理事・監事の役割」について、日本生協連の宮部法規会計支援部長に「生協のガバナンスと各機関の役割」「役員に関する重要なルール」「生協法の規定から」の各章について講義いただきました。

次回第2回は10月4日(木)に「生協の会計・監査の考え方」、第3回は10月30日(月)に、「医療生協の経営分析の基礎」について学習します。



「生協のガバナンスと理事・監事の役割」
日本生協連 法規会計支援部 宮部部長

社会福祉問題研修会を開催しました

8月7日(月)、大阪府社会福祉会館にて、2017年度の「社会福祉問題研修会」を開催しました。11会員生協等から47名が参加しました。

今年度の研修会は、関西福祉科学大学 社会福祉学部 社会福祉学科の小口将典准教授をお招きし、全国的に多くの生協で支援をはじめている「こども食堂」について、その意義目的をあらためて考えることを目的に、「こども食堂を通してみえる食と食卓の重要性」をテーマに開催しました。

小口先生からは、福祉において「食」は、その時々時代の背景に即し重要な位置づけにあり、食の提供は福祉の原点で生活全体を支えることにつながる。こども食堂も単にこどもにご飯を食べさせるというだけでなく、こどもの居場所を食というツールを通してつくること。こどもの孤食を防ぐ事の重要性。こどもが貧困なのは親が貧困だから、こども食堂は救済措置でこどもの貧困対策の抜本的な解決は別にある等についてお話いただきました。また小口先生のゼミ生の同大学4回生の赫(てらし)さんから、保育士のたまごから見たこども食堂について報告いただきました。その後、生協の取組み事例として、大阪きづがわ医療福祉生協の姉川さんから、同生協が大阪市西区、大正区、浪速区、西成区で進めるこども食堂の状況について紹介いただきました。



関西科学福祉大学 小口准教授



赫(てらし)さん



きづがわ医療福祉生協の事例紹介

お盆里帰りバスを実施しました

東日本大震災により、近畿圏で避難生活をされている方への支援の取り組みとして、「お盆里帰りバス」を、8月10日(木)夜に大阪を出発し、16日(水)朝に帰阪の日程で実施し、10組19名に利用いただきました。バスの停車地を東京・福島県いわき市、福島県郡山市、宮城県仙台市の4ヶ所設置しました。8/10～8/11の往路は、お盆の帰省や事故の影響で予定時間より2時間程度の遅れとなりましたが、8/15～8/16の復路は大きな渋滞もなく順調に進みました。車内ではビンゴゲームや、お盆をどのように過ごされたのかなどのお話など交流をしました。

この企画には、4名の大学生、1名の医療生協職員、事務局2名がスタッフとして添乗しました。バス利用者が帰省等をされている8/12～8/14の間、スタッフは、宮城県石巻市の仮設住宅で住民交流会を開催し、たこ焼き、流しそうめん、健康体操、ビンゴゲームを運営しました。また震災遺構施設の荒浜小学校（仙台市）の見学や、南三陸町の新しいさんさん商店街の視察、おおさかパルコープ、コープぎふの方と陸前高田市で合流し、被災地視察や陸前高田市の気仙川花火大会での模擬店のお手伝いなどの活動をしました。



車内でのレクリエーション



住民交流会（健康体操）



住民交流会



震災遺構の見学



花火大会模擬店のお手伝い

福島の子ども保養プロジェクト

コヨット! in おおさか

2017
夏



コヨット!
koyotto

福島県から小学生4～6年生20名をお招きし「コヨット! in おおさか2017夏」を開催しました。

インスタントラーメン発明記念館、ウェルカムレクレーション & たこ焼きパーティ、夏野菜の収穫と袋詰め体験、食育体験学習、そしてユニバーサル・スタジオ・ジャパンと、あつーい大阪で元気いっぱい、あそびました。

■スケジュール

- 8月18日(金) 夜 福島県郡山市を出発
- 8月19日(土) 朝 大阪着。午前はインスタントラーメン発明記念館、午後は阪南大学生協の食堂でウェルカムレクレーション&たこ焼きパーティ
- 8月20日(日) 大阪いずみ市民生協のエコロジーファームで夏野菜の収穫と物流センターで野菜の袋詰め体験。午後は同生協のたべる*たいせつミュージアムで食育体験学習。
- 8月21日(月) ユニバーサル・スタジオ・ジャパンで遊ぶ
お風呂と夕食の後、大阪を出発
- 8月22日(火) 朝 福島県郡山市到着・解散

【8月18日 バスで大阪へ!】

8月18日(金)夜9時に福島県のJR郡山駅前を大型バスで出発し大阪へ。自己紹介やミニゲームなどの後、就寝。



【8月19日 大阪到着!】

朝5時過ぎに、名神高速道路の多賀サービスエリア(滋賀県)に到着し、洗顔、朝食の休憩をとって再出発。8時30分頃に、新大阪駅近くの今回の宿舎「新大阪ユースホステル」に到着。大学生スタッフと合流し、バスで池田市のインスタントラーメン発明記念館に行きました。同記念館で、自分でデザインしたカップに好みのスープと具材を選ぶオリジナルカップヌードルつくりと、小麦粉をこねるところから始める手作りチキンラーメンづくりをしました。お昼休憩の後、英真学園高校(大



阪市)の高校生と先生5名が合流し、バスで阪南大学(松原市)に移動、阪南大学生協の食堂で大学生おにいさん、おねえさんと、ゲームや歌などのレクレーション大会、そして夕食をかねてたこ焼きパーティをしました。新大阪ユースホテルに帰り、英真学園高校の皆さんとお別れし、お風呂に入り、お部屋でお話など過ごしたあと就寝しました。

【8月20日 夏野菜の収穫体験と食育体験学習】

8時30分にバスでユースホテルを出発し、約1時間かけて、大阪いずみ市民生協のエコロジーファーム(和泉市)に到着しました。猛暑日の中、おくら、きゅうり、ミニトマトの収穫を体験し、物流センターで野菜の袋詰めをしました。畑で採れて生協のお店に出荷するまでの作業を体験しました。午後は同じく大阪いずみ市民生協のたべる*たいせつミュージアムに行き、味覚テストでは、ほんの少しの味から、「甘味、酸味、塩味、苦味、旨味」を感じる味覚テスト、ジュース、スポーツドリンク、栄養ドリンクの糖分テスト、手のひらの汚れを確かめる手洗いテストを行いました。その後は食べものと体の仕組みや旬の食べもの、食事のバランス、季節の食べものなどについて、遊びながら学べる体験学習をしました。バスで新大阪ユースホテルへ帰り、お風呂に入り、夕食を食べ、いよいよ明日のUSJの準備を整え就寝しました。



【8月21日 USJ！（ユニバーサル・スタジオ・ジャパン）】

6時に起床し全部の用意をすませ朝食。7時45分にホテルを出発し、新大阪駅に徒歩で移動。朝の通勤ラッシュの電車に乗って、ユニバーサルシティ駅に到着しました。改札を出た後は5つのグループに分かれ夕方まで自由行動です。本当にたくさんの人の中、各グループで工夫し、アトラクションをまわり、おみやげも購入し、夕方5時30分までたくさん遊びました。USJで遊んだ後、すぐ近くの新日鐵住金製鋼所に行き、いつも社員の方が使われている浴場と食堂をお貸しいただき、お風呂と夕食をとりました。夕食後は最後の荷物の整理と、感想用紙を書きました。9時に製鋼所を出発。最寄りの駅前に停車し、学生スタッフとお別れし、興奮冷めやらぬなか、なかなか寝付けない子もいましたが、その内にぐっすりと寝ました。



【8月22日 福島県郡山市に到着】

バスも順調に走行し、予定通り7時少し前に郡山駅前に到着しました。既に全員の保護者の方がお迎えに来られていて、無事解散・終了しました。



第29回近畿地区生協・行政合同会議を開催しました

8月30日(水)、シティプラザ大阪（大阪市中央区）にて、「第29回近畿地区生協・行政合同会議」を開催しました。同会議は、地域住民の安全・安心な暮らしを支える為に、生協と行政とのパートナーシップを深めることを目的に開催しています。

会議は、近畿地区2府5県の生協府県連で構成する、近畿地区生協府県連協議会が主催し、各府県の持ち回りで年1回開催しており、今年は大阪府が当番県で実施しました。

今年度は、「安心してらせる地域社会づくりをめざして」をテーマとしました。まず主催者を代表して、近畿地区生協府県連協議会代表である兵庫県生協連の木田会長理事から挨拶があり、続いて開催地を代表して、大阪府の岡本府民文化部長より歓迎のご挨拶がありました。

その後、厚生労働省社会・援護局 地域福祉課消費生活協同組合業務室の登内生協検査官からのご挨拶と行政と生協の一層の連携のお願いがありました。続いて日本生協連から、全国の生協の社会的取り組みについて、渉外広報本部の伊藤本部長より報告いただきました。

そして、今回の開催テーマに沿って、特別講演として「消費者問題の現状と課題について考える～行政と生協への期待～」と題して、弁護士で消費者支援機構関西副理事長でもある片山登志子氏より、安全にらせる良質で公正な社会を実現するために必要である消費者の参加の推進について、行政と生協が互いの持ち味を活かし、また連携しながら、消費者の声を集め、消費者自らの行動を促すためにも、消費者の視点や気持ちに立った工夫ある取り組みを推進し、消費者に本当に伝わる情報提供の仕組みや手法の確立に向けて、消費者に関わる様々な主体が共に取り組むことの大切さ等についてお話いただきました。

特別講演の後には、各地の特長的な取り組みの紹介として、兵庫県からはコープこうべの「拠点づくりの取り組み～暮らしのお困りごとを考える」について、京都府からは京都高齢者生協くらしコープの「共住プロジェクトと共同墓の活動」について、最後に大阪府より「大阪府における公民連携の取り組み」について報告いただき意見交換しました。



開会のご挨拶



特別講演（片山弁護士）



府県の取り組み報告

ミドリのパフレットはお手元にありますか？



～おおさかまるごと～ 健康チャレンジ 2017

どなたでも
参加 OK

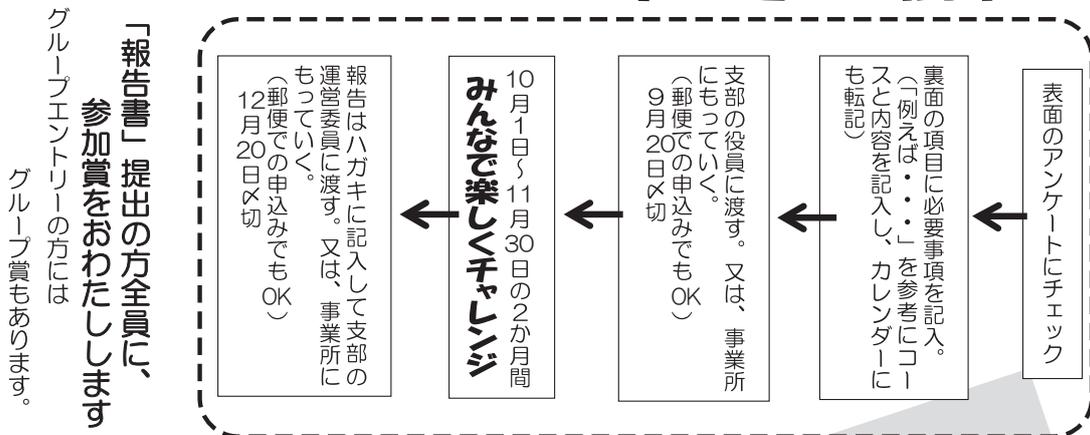
参加費
無料



2016年度、「地域まるごと健康づくり」をめざし取り組んだ「おおさかまるごと健康チャレンジ」には府内の医療福祉生協組合員を中心に7000名以上が参加、「生活習慣、運動習慣を身につけるよいきっかけになった」「自分の健康のみならず、家族の健康も含めて考え、健康づくりを工夫した」「健康になったことが実感でき、継続への意識づけになった」などの感想が寄せられました。

2017年度はこの経験を踏まえて、「健康で元気に暮らしていきたい」という組合員、地域住民にとってより魅力ある取り組みに発展させ、健康チャレンジャーを更に広げ、大阪府下1万人を目指しましょう☆

お申し込みは簡単！



<大阪きづがわ医療生協>

近隣の小学校へは昨年に以上に訪問しています。ある小学校では、地域活動協議会の会長さんと一緒に教頭先生とお会いしてきました。小学校ではすでにあいさつと早寝早起きをする習慣を設けているとのことで、それと連動して健康チャレンジにも全児童＋先生がた全員で取り組んでいただけのとのことでした。

また、診療所近隣の町会長会議にも出席させていただき、チャレンジの周知の願いをしました。町会すべての回覧板につけて回していただけることになりました。

地域まるごとで取り組めるようによりアピールしていけたらと思います。

詳しくは、お近くの医療福祉生協まで

サラダボウル

～ひとりひとりが輝いて～

ワークライフバランス（イクボス宣言）講演会を開催しました。

大阪いずみ市民生活協同組合

人事教育グループ 湊 誠一

2017年7月25日(火)ワーク・ライフ・バランス（イクボス宣言）講演会【イクボスなき企業、組織、社会に未来はない】、講師にNPO法人ファザーリングジャパン理事の塚越学様にご講演いただきました。冒頭より、過去・現在・未来の情勢や日本の雇用形態・生活環境・社会情勢も踏まえながら、わかりやすくお話しいただきました。昨今、企業としては働き方改革・ダイバーシティー・ワークライフバランス・女性活躍推進・LGBTなど、また社会問題として介護・未婚化・貧困など様々なことが取りざたされています。多様なキーワードがある中、これからの未来に、企業として働くものとしてどのようにしていくことがよいのか、考え方の多様性が求められていることを改めて痛感いたしました。まずは学習会等を通じて、風土づくり・意識の変容に取り組み、誰もがともに笑顔で働くことのできる社会をめざし、職員のワークライフバランスを推進へ繋げられるよう、また地域へのお役立ちをさらに進めていけるよう取り組みをすすめていきたいと思っております。

〈参加者の主な感想から〉

- ・顧客満足を追求するのと同じで、従業員それぞれの「個性」「能力」にあった、「人財育成」または「人財活用」を実施すること。が大きく組織に影響をあたえることがよくわかりました。「個人」も「組織」もともに成長できるマネジメントは本当に理想だと感じました。
- ・ワークライフバランスと言えば、育休や産休を取得する比率が高い女性に目を向けてしまうが、男性を含めて目を向けていかなければならないと思った。特に、個別の家庭事情や生活の背景があることを土台としなければならないことも分かった。
- ・20代、30代の職員と50代、60代の職員では価値観が異なること。またそのギャップから生じるワークライフコンフリクトによって職員の力が十分発揮できないことにつながるという認識がありませんでした。採用難、人材不足、人手不足の現状のなか、さらに職員の力が発揮できない状態はかなり危機的な状況だと改めて気づきました。
- ・少子高齢化やグローバル化の進行にともない、働く人を取り巻く環境、ライフスタイルが多様化する中で企業や組織が成長を続けていくためには、「ワークライフバランス」を軽視することはできないということがわかりました。
- ・ダイバーシティーの分類のところから、人はそれぞれ違いがあり、外見的なところだけでなく生活や内面的なところまで、身近なものということに、自分では特別なこととっていたので、固定観念が崩れた。一人一人の違いを認め、ダイバーシティーを活かした働き方が成果につながるということがわかった。

スケジュール

9月

- 6日 第6回文楽・コンサート実行委員会
- 7日 第2回大規模災害対策協議会
- 15日 会報 No330発行
- 20日 第2回ジェンダーフォーラム協議会
- 20日 なにわの消費者団体連絡会幹事会
- 28日 第2回関西地連運営委員会・県連活動推進会議

10月

- 4日 第2回理事・監事研修会
- 6日 第2回近畿地区生協府県連協議会（滋賀）
- 18日 第2回組織活動委員会
- 18日 なにわの消費者団体連絡会幹事会
- 19日 第2回理事会

11月

- 15日 会報 No331発行
- 15日 第3回ジェンダーフォーラム協議会
- 15日 なにわの消費者団体連絡会幹事会
- 16日 生協大会・第5回生協大会実行委員会
- 23日 第3回大規模災害対策協議会
- 30日 第3回関西地連運営委員会・県連活動推進会議

12月

- 7日 第3回理事会
- 21日 会報 No332発行

1月

- 16日 日本生協連方針討論集会（～17日）
- 17日 なにわの消費者団体連絡会幹事会
- 18日 第4回理事会
- 18日 新年講演会
- 24日 第1回文楽・コンサート実行委員会
- 31日 第3回組織活動委員会